

地域医療・介護のあり方検討について

1 趣 旨

人口減少・少子高齢化の進展により、地域医療・介護を取り巻く環境は大きく変化しています。国は、急性期医療を中心とした「治す医療」を担う医療機関と、回復期・慢性期医療を中心とした「治し支える医療」を担う医療機関との役割分担を明確化し、地域完結型の医療・介護提供体制の構築を進めています。

退院後も住み慣れた地域で安心して暮らすため、医療・介護サービスの切れ目ない連携と、関係機関による情報共有が重要です。

こうした中、本市においても、持続可能な地域医療・介護提供体制の構築に向け、多様な関係者による検討委員会を設置し、地域の中核病院である大垣市民病院を含めた、地域完結型医療・介護のあり方について総合的な検討を行います。

2 概 要

将来を見据えた地域医療・介護のあり方などについて検討する検討委員会を設置するため、現在、検討委員会準備会を立ち上げ、検討内容等について調査を行っている。

(1) 検討委員会の設置に向けて

- ・ 設置時期及び開催数
- ・ 構成団体
- ・ 検討内容

(2) 検討委員会での検討内容

- ・ 現状と課題の整理
- ・ 将来における医療・介護の需要量等の推計
- ・ 市民病院を含めた地域完結型医療・介護の今後のあり方

(3) 検討の視点

- ・ 地域完結型医療・介護提供体制の構築
- ・ 医療機関の機能分化と連携強化
- ・ 持続可能な地域医療と介護のあり方
- ・ 長期的視点での検討